

2017年3月20日

患難時代から救済されるための攻略法

イエスキリストの再臨の警告 携挙で残される者たちへの準備 世界への伝道

1. ホームページ
2. 私はどうすれば救われるの？
3. 私は救われているけれど、次は何をすれば良いの？
4. 患難時代を回避する方法-何百万の人が急に消える...なぜ？
5. 終末に起こる出来事
6. 私たちの信仰理念
7. 聖書からの真実
8. 聖書の基礎
9. 推薦文献
10. ヴィジョン & 働き
11. 私たちについて
12. お問合せ/私たちの働きに参加しませんか？

1. ホームページ

終末に起こる12の出来事が世界を変える！

これらの出来事がいつ起こるかは、創造主である神だけが知っています。

これは重大な警告です！

将来何百万人という人々が急に消えるという出来事が起こる時、あなたもその中の一人になる必要があるのです。

1. 何百万人ものクリスチャンが急に消える(携挙:けいきよ)

2. 世界を一つにする帝国が起こる(大バビロン)
3. 国々がイスラエルを攻撃する...神はそれらの国々を滅ぼされる。
4. イスラエルと反キリスト(自分をキリストと名乗る者)との平和条約締結 (患難時代の始まり)
5. 二人の預言者がイスラエルに現れる(彼らは特別な力を持つ)
6. エルサレムにユダヤ人の神殿が再建設される
7. 神の21のさばきが起こる (何十億もの人々が死ぬ)
8. 反キリストが殺される (しかし復活する)
9. 反キリストが条約を破棄する...神殿を汚す
- 10.二人の預言者が殺される(しかし復活する)
11. 獣の刻印が義務化される
12. イエスキリストの再臨 (最後の審判)

あなたは何をするべきなのでしょう？

- イエスキリストを自分の救い主として信じ、罪の支配から救われる必要があります。
- イエスキリストが私たちに与えて下さった救いを、他の人にも伝えてください！
- この「患難時代を回避する方法」を読んでください。

(詳しいことは、「終末に起こる出来事」と「聖書にある終末に起こる預言」をお読みください)

2. 私はどうすれば救われるの？

あなたは、聖書には良い知らせだけでなく、悪い知らせも書かれてあるのを知っていますか？「悪い知らせ」とはあなた自身に関わる事なのです。「良い知らせ」とは創造主である神に関わる事です。では、「悪い知らせ」から見ていきましょう。

悪い知らせ

1. 残念な事ですが、全ての人は生れながら「罪」を持って生まれてきます。そしてその罪により人は神と遠く離され、暗闇の中を迷いながら生きているのです。「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」(ローマ人への手紙3:23)
2. 罪を持って生きる事の代償は、「(永遠の)死」です。「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです」(ローマ人への手紙6:23)

良い知らせ

1. イエスキリストは、あなたの事を愛し、とても大切におもっています。彼は、罪の故にあなたが暗闇で迷う事が無い様に、その罪を請け負って十字架にかかり死にました。しかし死に勝利し、よみがえったのです。「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。」(ローマ人への手紙5:8)
2. あなたにもイエスキリストを救い主として信じる信仰によって、罪の支配する世界から創造主である神の祝福にあふれた世界へと移される特権が与えられています。(これをクリスチャンは「救われる」又は「救い」と言います。)
「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」ローマ人への手紙10:9

質問:あなたには、今イエスキリストをあなたの個人的な救い主として、信じる事を阻むものは何かありますか？

祈り方の例

神様、今、私はあなたの御前に来ます。

私は罪の中に生まれ、罪を持っています。

イエスキリストが私のために死んでよみがえられた事を信じます。

今私はイエスキリストを私の救い主と信じます。

私の罪をイエスキリストのゆえに赦してください、そして永遠の命を下さった事を心から感謝します。

イエスキリストの名によって祈ります。アーメン。

もし、今あなたがイエスキリストを信じたなら、本当に素晴らしいことです。あなたも神の家族の一員となったのです！あなたの全ての罪は赦され、イエスキリストによる永遠の命が与えられました。あなたが受けた救いは二度と奪われることはありません。それはどういうことかということ、あなたが受けた救いや、永遠の命が与えられるという事は、聖書にしっかりと書かれているのであって、あなたの気持ちの浮き沈み等で左右されるものではないということです。また、「救い」というのは、私たちが何か良い事をすれば得られるものではありません。それはこの様に聖書に書かれているからです。

「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。だれも誇る事の無いためです。」(エペソ人への手紙2:8-9)

出来るだけ早い段階で、これらの救いに関する聖書の言葉を暗記する事をお勧めします。それはあなたの救いを確信させるものであり、まだ罪の支配に中で生きている人々に伝えることができるからです。

永遠の命の確信

聖書の言葉には、はっきりと救いの確信の事が書かれています。一度救われたなら、あなたはずっと救われているのです。あなたの救いは、イエスキリストがしてくださった事を信じる信仰によって与えられま

した。これは、あなたが何をしても失うことは無いという事です。それはキリストにある真の自由なのです。

- **ヨハネの福音書5:24**「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことがなく、死からいのちに移っています。」
- **1ヨハネの手紙5:13**「神の御子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書いたのは、永遠のいのちを持っていることを、あなたがたに分からせるためです。」
- **ヨハネの福音書3:16-17**「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」

補足の聖書箇所

- **使徒の働き16:31**「...主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」
- **ヨハネの福音書20:31**「しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。」
- **ヨハネの福音書14:6**「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』」
- **ローマ人への手紙1:16**「私が福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」
- **2コリント人への手紙5:17**「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」
- **エペソ人への手紙1:13-14**「またあなたがたも、キリストにあって、真理のことば、すなわちあなたがたの救いの福音書を聞き、またそれを信じたことによって、約束の聖霊をもって証印を押されました。聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証でられます。これは神の民の贖いのためであり、神の栄光がほめたたえられるためです。」
- **ヨハネの福音書3:36**「御子を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。」
- **使徒の働き4:12**「この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。」
- **テトスへの手紙3:5-6**「神は、私たちが行なった義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊なる、新生と更新との洗いをもって私たちを救ってくださいました。神は、この聖霊を、私たちの救い主なるイエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。」
- **ヨハネの福音書1:12**「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」

更に「救い」や、クリスチャンとして成長するために役に立つ情報を知りたい方は「推薦文献」をお読み下さい。

次は「私は救われているけれど、次は何をすれば良いの？」へ。

3. 私は救われているけれど、次は何をすれば良いの？

あなたは今すぐにでも主の働きに参加することができるのです。聖書を全て読んで理解するまで待つ必要はありません。使徒パウロは、救われた後すぐに「イエスが神の御子である」と会堂で公に宣べ伝え始めました(使徒の働き9:20)。あなたが他の人にイエスキリストを宣べ伝える時、神はあなたに必要な力や勇気、そして話す言葉も与えてくださいます。あなたは、イエスキリストがあなた自身に何をしてくれたかを心から語るだけで良いのです。あなたの人生が、主の御名が褒め称えられるために豊かに用いられる様、祈りつつ神の御心を求めましょう。

祈る

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」(テサロニケ人への手紙第15:16-18)

「目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。」(コロサイ人への手紙4:2)

「ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。」(ヤコブの手紙5:16)

「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。」(ルカの福音書6章12節)

(ローマ人への手紙8:26、エペソ人への手紙6:18、ヘブル人への手紙4:14-16、第2歴代誌7:14、ピリピ人への手紙4:6-8、マタイの福音書6:5-13、15:36、マルコの福音書1:35、ルカの福音書5:16、11:1-13)

聖書を読む

聖書を読み、聖書の言葉を出来るだけ暗記しましょう。もし聖書を持っていない、又は持っているけれど、どこにあるか分からない場合は、インターネットから聖書を読むことが出来ます。もし、聖書を読む時間に余裕がない場合は、まずルカの福音書(イエスキリストの生涯、十字架の死と復活について)から読み始め、使徒の働き(教会の始まりとキリスト者への迫害等)、ローマ人への手紙(信仰による救い)、創世記(世界の始まりがどうだったのか)、ヨハネの黙示録(世界の終わりについて)、詩篇(慰めと力を与えてくれる書)などを読んでみましょう。

もし時間に余裕がある場合は、最初に挙げた書を読んでから、その他の新約聖書を最初から読み、その後残りの旧約聖書を読んでみましょう。神の言葉である聖書の代わりになる書物は他には存在しません。あなたがクリスチャンならば、あなたが聖書の意味を理解出来る様、その聖書の言葉をどの様にあなたの生活の中で適応していくのか、そして神が何をあなたに求めていられるのかが分かるように、

聖霊があなたを助けて下さいます。(申命記6:4-8、17:19、ヨハネの福音書8:31-32、イザヤ書55:11、1ペテロ3:15)

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。(詩篇119:105)

「あなたは熟練した者、すなわち真理のみことばをまっすぐに解き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。」(テモテへの手紙第2 2:15)

「あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。」(詩篇119:11)

「私は神のくちびるの命令から離れず、私の定めよりも、御口のことばをたくわえた。」(ヨブ記23:12)

「幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もその教えを口ずさむ。その人は、水路に植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。」(詩篇1:1-3)

「キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。」(コロサイ人への手紙3:16)

教会に参加する(携挙前の場合)

聖書を正しく理解している教会を探して洗礼を受ける事により、自分の信仰を公にしましょう。教会はあなたがキリスト者として主に仕える事が出来る準備をしてくれます。同じ信仰を持つクリスチャンの小グループに参加しましょう。祈りの通して、また礼拝や仲間との交わりを通して、あなたの信仰を成長させましょう。

教会に参加する(携挙後の場合)

他のクリスチャンを探してください。そして共に祈り、礼拝し、成長し、仕え、交わりを持ちましょう。自分の教会を探し、又は自分の家で教会を始め、あなたの信仰を公にするために洗礼を受けましょう。聖書によると、全ての教会(聖書を正しく理解し、信じている)は、ほぼ誰もいなくなるとあります。そしてクリスチャンに対する迫害が起こるともあります。あなたの教会も迫害に会うかもしれません。しかし、その様な中でも教会はあなたを訓練し、主の働きを行うための準備を手助けをしてくれるでしょう。

「ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」(ヘブル人への手紙10:25)

「こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、生徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、

完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためなのです。」(エペソ人への手紙 4:11-13)

「そこで、彼のことは受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。」(使徒の働き2:41-42)

伝道- 良い知らせを伝える

イエスキリストの救いの素晴らしい知らせを、あなたの家族や友人、そしてその他の多くの人に伝えましょう。

「それゆえ、あなたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊に御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らに教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイによる福音書28:19-20)

「次のように書いてあります。キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。あなたがたは、これらのことの証人です。」(ルカによる福音書24:46-48)

「そのとき、弟子たちに言われた。『収穫は多いが働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。』(マタイによる福音書9:37-38)

「そして、毎日、宮や家々で教え、イエスがキリストであることを宣べ伝え続けた。」(使徒の働き5:42)

4. 患難時代を回避する方法

(何百万の人が急に消える...なぜ?)

なぜ何百万人ものが急に消えてしまうのでしょうか？イエスは全てのクリスチャン(キリストを救い主として信じる者)を天国に連れて行きます。この出来事(携挙)については、約2000年前に預言されていて、聖書に書かれています。詳しくは「終末に起こる出来事」(何百万人ものが消える-クリスチャンの携挙)をご覧ください。イエスはこの患難時代の後もう一度来られ、この期間に新しくクリスチャンになった人々を救い、悪を裁き、この世を治めるのです。私たちは、あなたが新しく救われる者の一人となる様に祈ります。どの様にしたらイエスキリストを信じて救われた者になるかは「私はどうすれば救われるの?」をご覧ください。

多くの人が消えた(携挙)の後、もしあなたがそのまま残されたのなら、困難で辛い時間はあなたの目の前にあります。10億もの人々が、7年間続く患難時代で命を落とします。その期間人々は恐れや混乱の中で、何が答えなのか探すでしょう。あなたは何億もの人々が急に消えた出来事(携挙)について、様々な説

や意見を耳にするでしょう。ある人々は、「神がクリスチャンに罰を与えたのだ。」とか、「地球外生物(エイリアン)が来て人々を襲ったのだ。」などと言うかもしれません。しかし聖書にその真実が明らかにされているのです。

「私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。主は、号令と、御使のかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼といっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。」(テサロニケ人への手紙第14:15-18)

あなたはこのような中でも恐れや不安を主に委ね、平安と慰めを与えることの出来る唯一の主に信頼をおきましょう。

「何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。」(ピリピ人への手紙4:6-8)

この時期は、恐れおののいたり、隠れたりする時ではありません。あなたに力と勇気、そして平安を与えることの出来る唯一の主に依り頼む時期なのです。あなたの恐れや不安、疑いなどを退け、あなたのいる環境を委ねる必要があります。イエスキリストは、既に約2000年前に十字架の上で全ての罪を負って死なれたことにより、あなたに勝利と守りを与えられました。彼の死からの復活は罪と死と悪魔に勝利した証なのです。罪と死は、もはやあなたに対して何の力もないのです。もし、あなたがこの患難時代を生き残れなくても、イエスキリストをあなたの救い主と信じたあなたは、この地上の命が取り去られた瞬間に主の御前に連れられていくのです。「あらゆる国の人々を弟子としなさい」とイエスは言われましたが、イエスキリストが全ての王の王、主の主としてこの世を治め、悪を裁き、キリストを信じる人々を救うのに、反キリストによるイスラエルの平和条約が結ばれた後7年間しか残されていません。一瞬一瞬を主イエスキリストを褒め称え、栄光が彼に帰す様な歩みを選びましょう。まだ世界の約60億以上もの人々がこのイエスキリストの救いを必要としています。先に救われている私たちは、日々この良い知らせを伝える使命があるのです。患難時代において様々な事が起きますが、私たちはこの結末を知っています。それは「イエスキリストが勝利する」ということです。

神はこの終末の時に、人間の想像をはるかに超えた大きな素晴らしいことをされます。この、人間の歴史の中で最大のリバイバル(多くの人がイエスキリストの救いを受け入れ信じること)にあなたが関わり、イエスキリストを信じて罪の支配から解放される一人となるように祈ります。あなたは決して一人ではないのです。

イエスは言いました「...見よ、わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイの福音書28:20) 私たちはあなたのために祈ります。「終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。」(エペソ人への手紙6:10)

あなたに最も必要なこと: 救われること

罪の支配から救われること(罪の完全な赦しと永遠の命の保証を得ること) - 私はどうすれば救われるの? と私は救われているけれど、次は何をすれば良いの? をご覧ください。

「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ人への手紙10:9)

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された、それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネの福音書3:16)

「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』(ヨハネの福音書14:6)

祈ること

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」(テサロニケ人への手紙第15:16-18)

「目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。」(コロサイ人への手紙4:2)

「ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。(ヤコブの手紙5:16)

「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。(ルカの福音書6章12節)

(ローマ人への手紙8:26、エペソ人への手紙6:18、ヘブル人への手紙4:14-16、第2歴代誌7:14、ピリピ人への手紙4:6-8、マタイの福音書6:5-13、15:36、マルコの福音書1:35、ルカの福音書5:16、11:1-13)

聖書を読むこと

聖書を読み、聖書の言葉を出来るだけ暗記しましょう。もし聖書を持っていない、又は持っているけれど、どこにあるか分からない場合は、インターネットから聖書を読むことが出来ます。もし、聖書を読む時間に余裕がない場合は、まずルカの福音書(イエスキリストの生涯、十字架の死と復活について)から読み始め、使徒の働き(教会の始まりとキリスト者への迫害等)、ローマ人への手紙(信仰による救い)、創世記(全てのはじまりがどうだったのか)、ヨハネの黙示録(世界の終わりについて)、詩篇(慰めと力を与えてくれる書)などの書を読んでみましょう。もし時間に余裕がある場合は、最初に挙げた書を読んでから、その他の新約聖書を最初から読み、その後残りの旧約聖書を読んでみましょう。神の言葉である聖書の代わりになる書物は他には存在しません。あなたがクリスチャンならば、あなたが聖書の意味を理解出来る様、その聖書の言葉をどの様にあなたの生活の中で適応していくのか、そして神が何をあなたに求めていられるのかが分かるように、聖霊があなたを助けて下さいます。(申命記6:4-8、17:19、ヨハネの福音書8:31-32、イザヤ書55:11、1ペテロ3:15)

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。(詩篇119:105)

「あなたは熟練した者、すなわち真理のみことばをまっすぐに解き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。(テモテへの手紙第2 2:15)

「あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。」(詩篇119:11)

「私は神のくちびるの命令から離れず、私の定めよりも、御口のことばをたくわえた。」(ヨブ記23:12)

「幸いなことよ。悪者のはかりごとには歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もその教えを口ずさむ。その人は、水路に植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。」(詩篇1:1-3)

「キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。」(コロサイ人への手紙3:16)

教会に参加すること

他のクリスチャンを見つけてください。そして祈り、共に礼拝し、成長し、仕え、交わりを持ちましょう。教会を探し、又は自分の家で教会を始め、あなたの信仰を公にするために洗礼を受けましょう。聖書によると、全ての教会(聖書を正しく理解し、信じている)には、ほぼ誰もいなくなるとあります。そしてクリスチャンに対する迫害が起こるともあります。教会はあなたを訓練し、主の働きを行うための準備を手助けをしてくれるでしょう。

「ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」(ヘブル人への手紙10:25)

「こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、生徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建てるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためなのです。」(エペソ人への手紙4:11-13)

「そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。」(使徒の働き2:41-42)

伝道すること - 良い知らせを伝えること

イエスキリストがもう一度この地上に来られ患難時代が始まる前までに、出来るだけ多くの人にイエスキリストによる救いの良い知らせを伝えましょう。終わりの時には人類史上最も大きなリバイバル(多くの

人がイエスキリストを救い主として信じる(ことが起きますが、あなたもその一部として活躍できるのです。もしかしたらこのウェブサイトも閉ざされてしまうかもしれません。その前にこのウェブサイトの情報を出来るだけ保存し、メールやその他の方法で多くの人にこれから起こる出来事を知らせてください。

「それゆえ、あなたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊に御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らに教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイによる福音書28:19-20)

「次のように書いてあります。キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。あなたがたは、これらのことの証人です。」(ルカによる福音書24:46-48)

「そのとき、弟子たちに言われた。『収穫は多いが働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。』(マタイによる福音書9:37-38)

「そして、毎日、宮や家々で教え、イエスがキリストであることを宣べ伝え続けた。」(使徒の働き5:42)

獣の刻印を押されないように警告します！

「また、第三の、別の御使いも、彼らに続いてやって来て、大声で言った。『もし、だれでも、獣とその像を拝み、自分の額か手に刻印を受けるなら、そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた神の怒りのぶどう酒を飲む。また、聖なる御使いたちと子羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像を拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。』(ヨハネの黙示録14:9-11)

「そこで、第一の御使いが出て行き、鉢を地に向けてぶちまけた。すると、獣の刻印を受けている人々と、獣の像を拝む人々に、ひどい悪性のはれもの(ヨハネの黙示録16:2)(ヨハネの黙示録13:6、19:20、20:4)

5. 終末に起こる出来事

著者は聖書を正しく解釈し説明することに力を尽くしました。

イスラエル国の再建

イスラエル国の再建は、聖書に書かれている重要な預言の一つです。イスラエルは1948年5月14日に一つの国として再建されました。(建国記念日: ユダヤ人のカレンダーで、5 Iyar 5708) 私たちはこのイスラエルの国の再建こそが、終末の始まりと信じます。イスラエルの再建は、民族の霊的な目覚め、リバイバル(エゼキエル書11:14-21、36:22-38、37:1-28、39:25-29)、民族としての裁き(ヨエル書3:1-2、エゼキエル書28:24-26)、大患難時代(エレミヤ書30:1-11)、ダビデ王の時代と救い主の統治とに関連します。

神はイスラエルと永遠の平和の契約をかわします。それは救い主が、ダビデの家系から出て永遠に彼らの王となるという事です。(エゼキエル書34:24、37:24-28、エレミヤ書30:9、ホセア書3:5) そして更に救い主(義の枝)はすべての国々、すべての人々を治めるようになります。(エレミヤ書23:1-8、33:14-15、イザヤ書4:2-6、11:1-5、53:2、ゼカリヤ書3:8-9、6:12-13、エゼキエル書20:33-44、ヨハネの黙示録20:4)

イスラエル国の再建-追加箇所(イザヤ書11:11-12、エゼキエル書34:11-16、38:8、ダニエル書9:24-27)

何百万人ものクリスチャンが急に消える(携拳:けいきよ)

なぜ何百万人もの人が消えるのでしょうか？イエスは、7年間の患難時代が始まる前に、イエスを救い主として信じる人々を天国に連れていくために戻ってきます。そして何十億もの人々が地上に取り残され、不安と混乱で悩まされます。何百万もの人が消えたことについて様々な説が出てくるでしょう。しかし聖書の中に真実があるのです。携拳は約2000年前に聖書によって既に預言されています。(ヨハネの福音書14:1-3、ピリピ人への手紙3:20-21、第2テサロニケ人への手紙2:1-12、第2ペテロの手紙3:3-18、ヨハネの黙示録3:10-11)

「私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。主は号令と、御使のかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」(テサロニケ人への手紙第1, 4:15-17)

「聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠ってしまうのではなく、みな変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。」(コリント人への手紙第1, 15:51-52)

「ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使たちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようなからです。洪水前の日々は、ノアが箱舟にはいるその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついでにしていました。そして、洪水が来てすべての物をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。そのとき、畑にふたりいると、ひとりを取られ、ひとりが残されます。ふたりの女が臼をひいていると、ひとりを取られ、ひとりが残されます。だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。しかし、このことは知っておきなさい。家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら、目を見張っていたでしょうし、また、おめおめと自分の家に押入れはしなかったでしょう。だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。」(マタイによる福音書24:36-44)

「兄弟たち、それらがいつなのか、またどういう時かについては、あなたがたは私たちに書いてもらう必要がありません。主の日が夜中の盗人のように来るということは、あなたがた自身がよく承知しているからです。人々が、『平和だ。安全だ』と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできませ

ん。しかし、兄弟たち。あなたがたは暗やみの中にはいないのですから、その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもだからです。私たちは、夜や暗やみの者ではありません。ですから、他の人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていきましょう。眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うからです。しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛を胸当てとして着け、救いの望みをかぶるとしてかぶって、慎み深くしていきましょう。神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目ざめていても、眠っていても、主とともに生きるためです。ですから、あなたがたは、今しているとおり、互いに励まし合い、互いに徳を高め合いなさい。」(テサロニケ人への手紙第1, 5:1-11)

「携挙の後、人々は救われるのか？」と疑問に思うと思います。聖書では終末の時代に多くの人が救われ、そして多くの人がイエスキリストを信じる信仰のために、命を落とすだろうという事がはっきりと書かれています。

「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大勢の群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手を持って、御座と子羊との前に立っていた。彼らは、大声で叫んで言った。『救いは、御座にある私たちの神にあり、子羊にある。』御使いたちはみな、御座と長老たちと四つの生き物との回りに立っていたが、彼らも御座の前にひれ伏し、神を拝して、言った。『アーメン。賛美と栄光と知恵と感謝と誉れと力と勢いが、永遠に私たちの神にあるように。アーメン。』長老のひとりが私に話しかけて、『白い衣を着ている人たちは、いったいだれですか。どこから来たのですか。』と言った。そこで、私は、『主よ、あなたこそ、ご存知です。』と言った。すると、彼は私にこう言った。『彼らは、大きな患難から抜け出て来た者たちで、その衣を子羊の血で洗って、白くしたのです。だから彼らは神の御座の前において、聖所で昼も夜も、神に仕えているのです。そして、御座に着いておられる方も、彼らの上に幕屋を張られるのです。彼らはもはや、飢えることもなく、渴くこともなく、太陽もどんな炎熱も彼らを打つことはありません。なぜなら、御座の正面におられる子羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。また、神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい去ってくださるのです。』(ヨハネの黙示録7:9-17)

反キリストが歴史上最も強く大きな帝国を率いる時も、救い主を信じる者が多く起こされます。そしてその人々に対する反キリストの攻撃が、患難時代の後半にはさらに厳しくなります。(ヨハネの黙示録 13:7; ダニエル書 7:21-22). (ヨハネの福音書 16:2; ヨハネの黙示録 6:9-11, 15:2-4, 20:4-6)

世界を一つとする帝国が建国される。(大バビロン)

携挙による世界的な大混乱により、人々は世界が一つとなる帝国を強く求めるようになります。それが世界の終末に建国される大バビロンです。それは10の国から成り、10人の王が治めると預言されています。(ダニエル書7章、ヨハネの黙示録17-18章) この帝国は非常に強く、「全土を食い尽くし、これを踏みつけ、かみ砕く。」(ダニエル書7:23)のような存在になります。この終末の大バビロンに関し、聖書には様々な特徴が書かれてあります。その帝国は不快で恐ろしく、非常に強い獣(患難時代の後半(大患難時代)で反キリストとサタンがひとつとなったもの)のようであり、また、その帝国は腐敗した宗教体制、不品行と不倫に満ちた大淫婦であるとも表されています。(ヨハネの黙示録17:1-18) 大淫婦は神に従う者を憎み、彼女のふしだらな行いで世界を腐敗させ、富や物質、そして非常な悪で世を満たすでしょう。「この女は紫と緋の衣を着ていて、金と宝石と真珠とで身を飾り、憎むべきものや自分の不品行の汚れでいっ

ばいになった金の杯を手を持っていた。その額には、意味の秘められた名が書かれていた。すなわち、『すべての淫婦と地の憎むべきものとの母、大バビロン。』という名であった。」(ヨハネの黙示録17:4-5)

大バビロンは世界のどの国よりも大きな都市となるでしょう。(ヨハネの黙示録17:18)そこは「悪霊の住まい、あらゆる汚れた霊どもの巣くつ」(ヨハネの黙示録18:2)になります。地上の商売人たちは、度を越した大バビロンの贅沢によって資産を増やし、すべての国の人々はこの帝国による不品行のぶどう酒をのみます。(ヨハネの黙示録14:8, 18:3)この帝国と貿易する全ての人々は、この帝国のおかげで資産を増やします。(ヨハネの黙示録18:17-19)

大バビロンは、多くの神に従う者を迫害し殺害するでしょう。しかしその罪が積み重なって天に届いた時、神の激しい怒りを味わうことになるのです。大バビロンは「聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔い」、神はその罪を覚えておられます。(ヨハネの黙示録16:19, 17:6, 18:4-8)「それゆえ一日のうちに、さまざまな災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女(大バビロン)を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方だからです。」(ヨハネの黙示録18:8)

国々がイスラエルを攻撃する...神はそれらの国々を滅ぼす

ゴグ(今のロシアだろうと言われている)と他の多くの国々が巨大な軍隊でイスラエルを攻撃します。この戦いは携挙の後、反キリストによるイスラエルとの平和条約が契られたすぐ後だろうと言われています。エゼキエル書38章と39章にはこの戦いのことと、どの様に神がイスラエルを救うかが書かれてあります。エゼキエル書38章を見ると、神は、世界が見たこともない様な偉大な力をもって、イスラエルを攻撃する者に立ち向かわれます。終末の出来事における非常に重大な結末は、すべての国々が全能の神である主を知り、その聖なる名が神の選びの民イスラエルの中で崇められるということです。多くの人々が患難時代の前にイエスキリストを信じる信仰によって救われるでしょう。

「あなたは、わたしの民イスラエルを攻めに上り、終わりの日に、あなたは地をおおう雲のようになる。ゴグよ。わたしはあなたに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがあなたを使って諸国の民の目の前にわたしの聖なることを示し、彼らがわたしを知るためだ。」(エゼキエル書38:16)

「ゴグがイスラエルの地を攻めるその日。-神である主の御告げ-わたしは怒りを燃え上がらせる。わたしは、ねたみと激しい怒りの火を吹きつけて言う。その日には必ずイスラエルの地に大きな地震が起こる。海の魚も、空の鳥も、野の獣も、地面をはうすべてのものも、地上のすべての人間も、わたしの前で震え上がり、山々はくつがえり、がけは落ち、すべての城壁は地に倒れる。わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる。-神である主の御告げ-彼らは剣で同士打ちをするようになる。わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼の率いる多くの国々の民の上に、豪雨や雹や火や硫黄を降り注がせる。わたしがわたしの大いなることを示し、わたしの聖なることを示して、多くの国々の見ている前で、わたしを知らせるとき、彼らは、わたしが主であることを知ろう。」(エゼキエル書38:18-23)

「おまえと、おまえのすべての部隊、おまえとともにいる国々の民は、イスラエルの山々に倒れ、わたしはおまえをあらゆる種類の猛禽や野獣の餌食とする。おまえは野に倒れる。わたしがこれを語るからだ—神である主のことば—。わたしはマゴグと、島々に安住している者たちに火を放つ。彼らは、わたしが主であることを知る。わたしは、わたしの聖なる名をわたしの民イスラエルの中に告げ知らせ、二

度とわたしの聖なる名を汚させない。諸国の民は、わたしが主であり、イスラエルの聖なる者であることを知る。今、それは来て、成就する—神である主のことば—。それは、わたしが語ってきた日である。」(エゼキエル書39:4-8)

イスラエルと反キリスト(自分をキリストと名乗る者)との平和条約締結 (患難時代の始まり)

エゼキエル書38章にある戦いが終わった後、ついに反キリストが一体何者なのかが分かります。それはイスラエルと7年間の平和条約を結ぶ人物こそが反キリストであるということが明らかにされます。(ダニエル書9:27) これは非常に重大な、終末に起こる出来事です。それは、その条約が締結される出来事が7年間の患難時代の始まりである、という意味を持っているからです。

反キリストは、最初は大バビロンの10人の王(支配者)の一人ではありません。ダニエル書には、反キリストの事を、獣が持っている10本の角の後に出てくる、小さな角と表現しています。「その小さな角のために、初めの角のうち、3本が引き抜かれた。」と書かれてあります。(ダニエル書 7:8, 20, 24) 大バビロンを治める残りの王たちは、一人ずつその地位を奪われ失脚し、最終的には反キリストが、その最高地位を得て、大バビロンを治めるようになります。(患難時代の間あたりの時期) 反キリストは、時や法則を変えようとし、高慢に語り、恐れられ、致命的な傷を受けますが、復活し、キリストを信じる人々に対して争い(彼らを迫害し、殺害する)、創造主である神よりも自分自身を高く上げ、神に向かってあきれ果てるようなことを語り、人々に崇められます。(ヨハネの黙示録 13:1-10, 17:1-18, 19:1-21, 20:1-15; 第2テサロニケ2:1-12; マタイの福音書 24:15; ダニエル書 7:7-28, 8:23-26, 9:24-27, 11:36-45, 12:1-13; 1ヨハネの手紙 2:18-27)

イスラエルの二人の預言者 (特別な力を持つ)

二人の預言者(証する者)が、神によって送られます。彼らは荒布を着、1260日間預言し、そして神はこの二人に特別な力を与えます。「わたしがそれを許すので、わたしの二人の証人は、粗布をまとって千二百六十日間、預言する。」彼らは、地を治める主の御前に立っている二本のオリーブの木、また二つの燭台である。もしだれかが彼らに害を加えようとするなら、彼らの口から火が出て、敵を焼き尽くす。もしだれかが彼らに害を加えようとするなら、必ずこのように殺される。この二人は、預言をしている期間、雨が降らないように天を閉じる権威を持っている。また、水を血に変える権威、さらに、思うままに何度でも、あらゆる災害で地を打つ権威を持っている。」(ヨハネの黙示録11:3-6)

エルサレムにユダヤ人の神殿が再建設される

エゼキエル書38章の戦いで分かるように、神を信じる人々に対する神の偉大な力と敵からの守りは、エルサレムに再び神殿を建設するための準備となります。その神殿は患難時代の前半で急速に再建設されるでしょう。というのは、反キリストが患難時代の半ばで、いけにえとささげ物とをやめさせ、神殿を汚すと書かれているからです。(ダニエル書 9:27, 12:11; マタイの福音書 24:15; 第2テサロニケ人への手紙 2:3-4)

神の21のさばきが起こる (何十億もの人が死ぬ)

大患難時代の間、何十億もの人が死ぬでしょう。(ヨハネの黙示録6:8, 9:15) 「もしその日数が少なくされないなら、一人も救われません。しかし、選ばれた者たちのために、その日数は少なくされます。」(マタイによる福音書24:22) 神の21のさばきは7つの封印と7つのラッパ、そして7つの鉢のさばきです。(ヨハネの黙示録 6:1-17, 8:1-13, 9:1-21, 11:15-19, 15:1-8, 16:1-21)

7つの封印のさばき

イスラエルと反キリストとの平和条約の締結後、つかの間の平和が訪れます。これは次に起こる戦争、飢餓、大恐慌、伝染病の蔓延、人類の4分の1の人口の減少、クリスチャンに対する最悪な迫害、地震、そして自然界(太陽、月、星など)の異常などが起こる前触れに過ぎないのです。(ヨハネの黙示録 6:1-17, 8:1-6)

7つのラッパのさばき

ラッパのさばきとは、血の混じった雹と火が現れ(地上の三分の一が焼ける)、火の燃えている大きな山のようなものが海に投げ込まれ(海の三分の一が血に変わり、三分の一の生き物が死に、三分の一の船が破壊される)、非常に強く燃えた星が落ち、それのより地上の三分の一の水が汚染され、太陽、月、星が光を失い、凶暴なイナゴ/サソリが大量発生し、天災が起こり(人類の三分の一が死ぬ)、そして、最後は戦争が起こるといえるものです。(ヨハネの黙示録 8:1-13, 9:1-21, 11:15-19)

7つの鉢のさばき

神の激しい怒りは最後の7つの災害/疫病によって終わります。(ヨハネの黙示録15:1) この7つの鉢のさばきは、ひどい悪性の腫れ物ができる(獣を拝む印のある者のみ)、海が血に変わる(すべての生き物が死ぬ)、川と泉が血に変わる、太陽が(人を焼くほど)激しく暑くなり、闇が地を覆い、東からの軍隊が通るためにユーフラテス川の水が濁れ、大きな地震が起き町々国々は破壊され、すべての島が消え、山はなくなり、そして非常に大きな雹が人々の上に降って来るといえる非常に激しいさばきです。(ヨハネの黙示録 15-16章)

反キリストが殺される (しかし復活する)

反キリストは殺されますが、死からよみがえります。サタン(竜)は反キリスト(獣)に力を与え、患難時代の後半に偉大な権力とその地位を確立させます。「その頭のうちの一つは打たれて死んだと思われたが、その致命的な傷は治った。全地は驚いてその獣に従い、竜を拝んだ。竜が獣に権威を与えたからである。また人々は獣も拝んで言った。『だれがこの獣に比べられるだろうか。だれがこれと戦うことが

できるだろうか。』この獣には、大言壮語して冒瀆のことばを語る口が与えられ、四十二か月の間、活動する権威が与えられた。獣は神を冒瀆するために口を開いて、神の御名と神の幕屋、また天に住む者たちを冒瀆した。獣は、聖徒たちに戦いを挑んで打ち勝つことが許された。また、あらゆる部族、民族、言語、国民を支配する権威が与えられた。地に住む者たちで、世界の基が据えられたときから、屠られた子羊のいのちの書にその名が書き記されていない者はみな、この獣を拝むようになる。」(ヨハネの黙示録 13:3-8)(ヨハネの黙示録 13:12)

反キリストが条約を破棄する...神殿を汚す

7年間の患難時代が半分過ぎた頃、反キリストはイスラエルとの平和条約を一方的に破棄し、エルサレムの神殿を汚します。(ダニエル書 9:27; マタイの福音書 24:15; 第2テサロニケ人への手紙 2:3-4) 患難時代の後半になると、多くのクリスチャンが殺害され、彼らは神のもとに移されます。(ダニエル書 7:25; ヨハネの黙示録 13:5-8)

二人の預言者が殺される(しかし復活する)

患難時代のが半分過ぎた頃、エルサレムでの預言を終えた二人の預言者(証する者)は、獣(反キリスト)によって殺されます。地上で生きているほとんどの人は、この二人によって悩まされるので、その死を喜びます。しかし神は彼らを三日半後に復活させます。そして、彼らはそのまま雲に乗って天に上ります。それが起きるとすぐにエルサレムで大地震が起き、その十分の一が破壊され、七千人が死にます。マラキ書によると、二人の預言者のうち一人はエリヤではないかと言われています。(マラキ書4:5, ヨハネの黙示録11:3-13)

獣の刻印とにせ預言者

にせ預言者は第二の獣として知られ、彼は反キリストから与えられた権力をもって人々を惑わします。にせ預言者は、偉大なしるしや奇跡を行い、人々が反キリストを讃えるよう、また、獣の刻印を受けるように促します。「また私は、別の獣が地から上って来るのを見た。それは、子羊の角に似た二本の角を持ち、竜が語るように語っていた。この獣は、最初の獣が持っていたすべての権威を、その獣の前で働かせた。また、地と地に住む者たちに、致命的な傷が治った最初の獣を拝ませた。また、大きなしるしを行い、人々の前で火を天から地に降らせることさえした。また、この獣は、あの獣の前で行うことが許されたしるしによって、地に住む者たちを惑わし、剣の傷を受けながらも生き返ったあの獣の像を造るように、地に住む者たちに命じた。それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がものを言うことさえできるようにし、また、その像を拝まない者たちをみな殺すようにした。また獣は、すべての者に、すなわち、小さい者にも大きい者にも、富んでいる者にも貧しい者にも、自由人にも奴隷にも、その右の手あるいは額に刻印を受けさせた。また、その刻印を持っている者以外は、だれも物を売り買いできないようにした。刻印とは、あの獣の名、またはその名が表す数字である。ここに、知恵が必要である。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。それは人間を表す数字であるから。その数字は六百六十六である。」(ヨハネの黙示録 13:11-18)

ここで強く警告します！絶対に獣の刻印を受けないで下さい！

「また、彼らの後にもう一人、第三の御使いがやって来て、大声で言った。『もしだれかが獣とその像を拝み、自分の額か手に刻印を受けるなら、その者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた、神の憤りのぶどう酒を飲み、聖なる御使いたちと子羊の前で火と硫黄によって苦しめられる。彼らの苦しみの煙は、世々限りなく立ち上る。獣とその像を拝む者たち、また、だれでも獣の名の刻印を受ける者には、昼も夜も安らぎがない。』(ヨハネの黙示録 14:9-11)。「第一の御使いが出て行き、鉢の中身を地に注いだ。すると、獣の刻印を受けている者たちと獣の像を拝む者たちに、ひどい悪性の腫れもののできた。」(ヨハネの黙示録 16:2)、(ヨハネの黙示録 13:7, 19:20, 20:4)

イエスキリストの地上再臨 (さばきの日)

イエスキリスト、主の主、王の王が、患難時代の終わり(イスラエルと反キリストの平和条約締結後の7年)に、人々を救い、悪をさばき、この世を治めるために、もう一度地上に戻ってきます。反キリストと地の王(支配者)たち、そして彼らの軍隊は共に集まり、神に戦いを挑みます。反キリストと、にせ預言者は火と硫黄の燃える池に生きたまま投げ込まれ、地上の軍隊は滅ぼされます。サタンは縛られ千年の間、地の深い所に入れられます。すべての国々、民族が主イエスキリストの前に集められ、さばきを受けます。生きていた時/さばきの前にイエスキリストを信じなかった者は、「永遠の刑罰」に入り、イエスを信じた者は「永遠にいのち」に入るといふさばきです。(マタイの福音書 25:31-46)。(ヨハネの黙示録 19-20章; イザヤ書 34:1-17, 66:15-17; ダニエル書 12:1-13; ヨエル書 2:28-32, 3:1-17; ゼカリヤ書 12-14章; ルカの福音書 17:20-37; 第2テサロニケ人への手紙 1:1-12, 2:1-12; テトスへの手紙 2:11-14)

うるう年をスマホのカレンダー等ですぐ特定することができるように、イエスキリストが再び地上に来られる日は簡単に特定できます。イスラエルと反キリストの平和条約締結後の7年間(360日を一年とするユダヤ暦で計算)が過ぎてからイエスキリストは再び戻って来ます。(ダニエル書9:27) これは2520日(1260日×2)、又はちょうど360週であり、(ヨハネの黙示録11:3,12:6) 患難時代の半分は180週です。

イエス(と弟子たち)の終末に関する発言

イエスは、終末の出来事に関する預言を、もっとも詳しく説明しました。イエスは弟子たちに、「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。」(マタイの福音書24:4-5)と注意されました。また、イエスは戦争のこと、飢餓のこと、地震や、にせ預言者、悪がはびこること、クリスチャンに対して憎しみや迫害が起きること、困難な中でも福音が広まること、反キリストによって神殿が壊されること、患難時代が来ることや、イエスキリストの再臨など、詳しく説明されました。(マタイの福音書 24:1-51, 25:1-46; マルコの福音書 13:1-37; ルカの福音書 17:20-37, 21:5-36; 2テモテへの手紙 3:1-9 [テモテによる]; 2ペテロの手紙 3:1-18 [ペテロによる])

神に立ち返る144,000人のユダヤ人

御使いたちは、144,000人の神に仕える者たちの額(ひたい)に、子羊なるイエスの名と父なる神の名が入っている印を押します。144,000人のユダヤ人たちはイスラエルの12部族の子孫で、神を礼拝する信仰を持ちます。このことが起こるといふことは、ユダヤ人への伝道がされるということも意味します。(ヨハネの黙示録 7:1-8, 14:1-5)

千年王国

イエスは、この地上ですべての民族、人々を千年間治めます。イエスの治める世界は、正しく、誠実で、愛に満ちたものと言えるでしょう。造られたもの全てが調和し、青々とした、エデンの園のような世界です。小さな子供がライオンと遊び、狼が羊とともにいる、そんな世界です。(イザヤ書11:6-9) 人々は癒され健康で、平和に満ち、次々と新しい命が生まれます。

千年の時が過ぎると、サタンは底知れぬ場所から解き放たれ、人々を再び惑わそうとします。その結果、多くの人々がサタンの味方になり、イエスキリストを排除しようとし、しかし天から火が降ってきて人々を焼き尽くし、サタンは火と硫黄の燃える池に投げ込まれ、イエスキリストを救い主として信じなかったすべての人々は、大きな白い御座の前でさばかれ、火の池に投げ込まれるのです。(ヨハネの黙示録20章) 今までの天と地は壊されて、すべて新しくされます。(2ペテロの手紙 3:7, 10-13)。(イザヤ書 9:6-7, 11:1-16, 24:23, 35:1-10, 56:1-8, 60:1-22, 61:1-11, 62:1-12, 65:17-25, 66:10-24; エレミヤ書 31:27-40; エゼキエル書 34:11-31, 36:22-38, 37:21-28, 40-48章; ダニエル書 7:13-14; ヨエル書 3:18-21; アモス書 9:11-15; ミカ書 4:1-8; ハバクク書 2:14; ゼカリヤ書 8:1-23, 9:10; 詩篇 2:6-9, 24:7-10, 33:5)

新しい天と地

大きな白い御座のさばきが行われた後、神は罪に汚れていない新しい天と地を示してくださいます。(ヨハネの黙示録 21-22章; ヨハネの福音書 14:2-3; 1テサロニケ人への手紙 4:17; 2ペテロの手紙 3:13; ヘブル人への手紙 12:22-23; ヨハネの黙示録 2:7, 7:7-17, 15:2)

「また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。以前のものが過ぎ去ったからである。」(ヨハネの黙示録 21:1-4)

「また、最後の七つの災害で満ちた、あの七つの鉢を持っていた七人の御使いの一人がやって来て、私に語りかけた。「ここに来なさい。あなたに子羊の妻である花嫁を見せましょう。」そして、御使いは御霊によって私を大きな高い山に連れて行き、聖なる都エルサレムが神のみもとから、天から降って来るのを見せた。都には神の栄光があった。その輝きは最高の宝石に似ていて、透き通った碧玉のようであった。……都の城壁は碧玉で造られ、都は透き通ったガラスに似た純金でできていた。都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイア、第三はめのう、第四はエメラルド、第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は貴かんらん石、第八は緑柱石、第九はトパーズ、第十はひすい、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。十二の門は十二の真珠であり、どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。都の大通りは純金で、透明なガラスのようであった。私は、この都の中に神殿を見なかった。全能の神である主と子羊が、都の神殿だからである。都は、これを照らす太陽も月も必要としない。神の栄光が都を照らし、子羊が都の明かりだからである。諸国の民は都の光によって歩み、地の王たちは自分たちの栄光を都に携えて来る。都の門は一日中、決して閉じられない。そこには夜がないからである。こうして人々は、諸国の民の栄光と誉れを都に携えて来ることになる。」(ヨハネの黙示録 21:9-26)

「御使いはまた、水晶のように輝く、いのちの水の川を私に見せた。川は神と子羊の御座から出て、都の大通りの中央を流れていた。こちら側にも、あちら側にも、十二の実をならせるいのちの木があって、毎月一つの実を結んでいた。その木の葉は諸国の民を癒やした。もはや、のろわれるものは何もない。神と子羊の御座が都の中にあり、神のしもべたちは神に仕え、御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の御名が記されている。もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、ともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは世々限りなく王として治める。」(ヨハネの黙示録22:1-5)

6. 私たちの信仰理念

聖書について

私たちは聖書は神のことばで、信仰といのちに関して最終的な権威を持つという事、そして聖書の全てのことばは神の靈感によるもので、そこに間違いは一つない事を信じています。(2テモテ 3:16-17; 2ペテロ 1:20-21; マタイ 5:18; ローマ 15:4)

神について

私たちは神は唯一で、世界を創造された方、永遠に存在し、三位一体(父、子、聖霊)である事を信じています。(創世記 1:1; 詩篇 8:1-9, 19:1-4; ローマ人への手紙 1:20, 8:31-39, 11:33; 2コリント人への手紙 13:14; 1ヨハネの手紙 4:7-8; マタイの福音書 28:19-20; ヨハネの福音書 1:1, 4:24; ヤコブの手紙 1:17; 申命記 6:4-6; 1ヨハネの手紙 4:7-21; 1ペテロの手紙 1:13-16; 詩篇 139:1-14; イザヤ書 45:5; 使徒の働き 17:25)

イエスキリストについて

私たちは、イエスキリストについて次のことを信じています。イエスキリストは神の御子であり、世界が創造される前から存在されていて、人となって処女マリアから生まれ、この世で全く罪を犯さずに生き、十字架で全ての人の罪を負って死なれました。ただイエスキリストが救い主であると信じる信仰こそが唯一の救いへの道です。イエスキリストは死からよみがえり、今は父なる神の右に座しておられます。また、イエスキリストは、私たちの信仰によって、私たちに永遠のいのちを与え、罪を赦し、平安を与えてくださいます。イエスキリストだけが神のところに行く唯一の道であり、そして彼は再びこの世に來られて、全てを治められます。(ヨハネによる福音書1:1-18, 29, 8:58, 14:6; ルカによる福音書1-2章; 2コリント人への手紙 5:20-21; 1ペテロの手紙1:3-9; ヘブル人への手紙1:8; イザヤ書7:14, 9:6)

聖霊について

私たちは、聖霊は神であり、クリスチャンと共にいて下さって、彼らがこの世で神に従いキリストを賛美して生きていくために導き、教え、力を与えてくださる方であると信じています。(ヨハネの福音書 14:26, 15:26, 16:7-15; ローマ人への手紙 8:5-18, 26-27; 1コリント人への手紙2:10, 12:12-14; エペソ人への手紙 1:13-14)

人について

私たちは、人は神が御自身に似せて創造された被造物であることを信じています。また、人は神に対して不従順になったため罪を持つ者となり、罪の故に神から遠く離され失われた存在になってしまいました。しかし、人は、神のひとり子イエスキリストが十字架に掛けられ、全ての罪の身代わりになって下さったことを、個人的に信じる信仰により、永遠の命が与えられ、そして聖霊の助けにより生きる存在であることを信じています。(創世記 [1:26-31](#), [2:7-25](#), [3:1-24](#); ローマ人への手紙 [3:23](#), [5:12](#), [6:23](#))

救いについて

私たちは、救いは神からの一方的な贈り物であり、私たちの行いによって得ることは出来ず、ただイエスキリストを救い主と信じる信仰により得ることができるものと信じています。(エペソ人への手紙 [1:13-14](#), [2:8-10](#); ヨハネによる福音書 [1:12](#), [29](#), [3:36](#), [5:24](#), [14:6](#), [20:31](#); 1ヨハネの手紙 [5:11-13](#); 使徒の働き [16:31](#); ローマ人への手紙 [1:16](#), [5:8](#), [10:9-10](#); 2コリント人への手紙 [5:17](#); 使徒の働き [4:12](#); テトスへの手紙 [3:5-6](#))

使命(指令)について

私たちは、クリスチャンは聖餐式と浸礼での洗礼式を行うことを、神から求められていることを信じています。(マタイによる福音書 [26:26-28](#); 1コリント人への手紙 [11:23-26](#); マタイによる福音書 [28:19-20](#); 使徒の働き [8:26-40](#))

死、さばき、天国、地獄について

私たちは、肉体の死からのよみがえりを信じています。イエスを信じる者は、イエスと共に生きる永遠の喜びの恵みに入れられて、信じない者は、永遠に続く辛く苦しい刑罰を受けるということを、信じています。(ルカによる福音書 [14:14](#), [23:42-43](#); ヨハネによる福音書 [5:28-29](#); ヨハネの黙示録 [20:10-15](#), [21-22](#) 章)

7. 聖書からの真実

神はすべての欠かすことのできない真実を、聖書を通して私たちに与えてくださいました。

- **詩篇25:5** 「あなたの真理に私を導き教えてください。あなたこそ私の救いの神私はあなたを一日中待ち望みます。」
- **詩篇 145:18** 「主を呼び求める者すべてまことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられます。」
- **箴言 12:19** 「真実の唇はとこしえまでも堅く立つ。偽りの舌はまばたきの間だけ。」
- **ヨハネの福音書 14:6** 「イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」
- **ヨハネの福音書 8:31-32** 「イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。『あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。』」

- **ヨハネの福音書 14:15-17** 「もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずで。そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてください。この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。」
- **ヨハネの福音書 16:13** 「しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。御霊は自分から語るのではなく、聞いたことをすべて語り、これから起こることをあなたがたに伝えてくださいます。」
- **2 テサロニケ人への手紙 2:10** 「...彼らが滅びるのは、自分を救う真理を愛をもって受け入れなかったからです。」
- **3 ヨハネの手紙 1:4** 「私にとって、自分の子どもたちが真理のうちに歩んでいることを聞くこと以上の大きな喜びはありません。」

人生の意味や目的とは何でしょうか？

人生の中には重要で意味深い質問が沢山ありますが、「自分は誰なのか。」、「どこから来たのか?」、「死んだ後はどこへ行くのか?」、「なぜ自分は存在していて、何の意味を持って生きているのか?」といったような質問を持っている方は沢山いるのではないのでしょうか。私たちは、聖書からそれら全ての質問の答えを見つけることができます。

- **申命記 6:4-7** 「聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。私が今日あなたに命じるこれらのことばを心にとどめなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家で座っているときも道を歩くときも、寝るときも起きるときも、これを彼らに語りなさい。」
- **コロサイ人への手紙 3:17** 「ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。」
- **出エジプト記 20:3-4, 7-8, 12-17** 「あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。...あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。主は、主の名をみだりに口にすることを罰せずにはおかない。安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。...あなたの父と母を敬え。...殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。あなたの隣人の家を欲してはならない。...すべてあなたの隣人のものを欲してはならない。」(十戒)
- **詩篇23:2-6** 「主は私の羊飼いです。私は乏しいことはありません。主は私を緑の牧場に伏させいこのみぎわに伴われます。主は私のたましいを生き返らせ御名のゆえに私を義の道に導かれます。たとえ死の陰の谷を歩むとしても私はわざわいを恐れませんが、あなたがともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖それが私の慰めです。私の敵をよそにあなたは私の前に食卓を整え頭に香油を注いでくださいます。私の杯はあふれています。まことに私のいのちの日の限りいつくしみと恵みが私を追って来るでしょう。私はいつまでも主の家に住みます。」
- **1 コリント人への手紙13:4-8** 「愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、不正を喜ばずに、真理を喜びます。すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを

望み、すべてを忍びます。愛は決して絶えることがありません。預言ならすたれます。異言ならやみます。知識ならすたれます。」

- **エレミヤ書29:11** 「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわいではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」
- **テトスへの手紙2:11-14** 「実に、すべての人に救いをもたらす神の恵みが現れたのです。その恵みは、私たちが不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望むように教えています。キリストは、私たちをすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心な選びの民をご自分のものとしてきよめるため、私たちのためにご自分を献げられたのです。」
- **マタイによる福音書28:19-20** 「ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とみなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。』」(これは大宣教命令で、イエスキリストが天に上げられる前に弟子たちに言った言葉です。)
- **マルコによる福音書12:28-30** 「しかし、わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに来ているのです。まず強い者を縛り上げるのでなければ、強い者の家に入って家財を奪い取ることが、どうしてできるでしょうか。縛り上げれば、その家を略奪できます。わたしに味方しない者はわたしに敵対し、わたしとともに集めない者は散らしているのです。」
- **ヨハネの福音書1:12** 「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。」
- **1ペテロの手紙1:3-9** 「私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせ、生ける望みを持たせてくださいました。また、朽ちることも、汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これらは、あなたがたのために天に蓄えられています。あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりの時に現されるように用意されている救いをいただくのです。そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならぬのですが、試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。あなたがたが、信仰の結果であるたましいの救いを得ているからです。」
- **エペソ人への手紙1:3** 「私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。」
- **2ペテロの手紙1:3** 「私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました。」

- **創世記1:26** 「神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」」
- **ヨハネの福音書3:16-18** 「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。御子を信じる者はさばかれない。信じない者はすでにさばかれている。神のひとり子の名を信じなかったからである。」
- **ルカの福音書23:43** 「イエスは彼に言われた。『まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。』」(もしあなたがイエスキリストをあなた自身の救い主と信じるなら、あなたがこの地上での人生を終えた時、その瞬間に天国へ行くことができるのです。)
- **箴言3:5-6** 「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。」
- **マタイによる福音書6:25-34** 「ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は養ってくださいます。あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。あなたがたのうちだが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるのでしょうか。なぜ着る物のことで心配するのですか。野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。働きもせず、紡ぎもしません。しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも装っていませんでした。今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこのように装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くして下さらないでしょうか。信仰の薄い人たちよ。ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。」
- **ローマ人への手紙15:13** 「どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安でああなたがたを満たし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。」
- **ピリピ人への手紙3:2-4** 「犬どもに気をつけなさい。悪い働き人たちに気をつけなさい。肉体だけの割礼の者に気をつけなさい。神の御霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない私たちこそ、割礼の者なのです。ただし、私には、肉においても頼れるところがあります。ほかのだれかが肉に頼れると思うなら、私はそれ以上です。」
- **ピリピ人への手紙4:13** 「私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできます。」
- **マタイによる福音書17:20** 「イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに言います。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」」

救い主(イエス)の最初の来臨の預言の成就

聖書の中には多くのキリスト(救い主)に関する預言が書かれてあります。救い主は、赤ちゃんとしてこの世に生まれ、神の子であると預言されました。「ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は『不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれる。その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に就いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これを支える。今よりとこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。」(イザヤ書9:6-7)

救い主は、処女から生まれ、インマヌエル(神が共にいてくださるという意味)と呼ばれるだろうと預言されました。「それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。」(イザヤ書7:14)

救い主は、ベツレヘムで生まれ、イスラエルを治める者になるだろうと預言されました。「ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」(ミカ書5:2)

救い主は、全ての罪を負う神の子羊として苦しみを受けることと預言されました。

イザヤ書52:13-15

13,「見よ、わたしのしもべは栄える。彼は高められて上げられ、きわめて高くなる。

14,多くの者があなたを見て驚き恐れたように、その顔だちは損なわれて人のようではなく、その姿も人の子らとは違っていた。

15,そのように、彼は多くの国々に血を振りまく。王たちは彼の前で口をつぐむ。彼らが告げられていないことを見、聞いたこともないことを悟るからだ。」

イザヤ書53:1-12

1,私たちが聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕はだれに現れたか。

2,彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。砂漠の地から出た根のように。彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。

3,彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で、病を知っていた。人が顔を背けるほど蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。

4,まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。それなのに、私たちは思った。神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。

5,しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちが癒やされた。

6,私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。しかし、主は私たちすべての者の咎を彼に負わせた。

7,彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。

8,虐げとさばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことか。彼が私の民の背きのゆえに打たれ、生ける者の地から絶たれたのだと。

9,彼の墓は、悪者どもとともに、富む者とともに、その死の時に設けられた。彼は不法を働かず、その口に欺きはなかったが。

10,しかし、彼を砕いて病を負わせることは主のみこころであった。彼が自分のいのちを代償のささげ物とするなら、末長く子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。

11,「彼は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を負う。

12,それゆえ、わたしは多くの人を彼に分け与え、彼は強者たちを戦勝品として分かち取る。彼が自分のいのちを死に明け渡し、背いた者たちとともに数えられたからである。彼は多くの人々の罪を負い、背いた者たちのために、とりなしをする。」

救い主に関する預言の成就 (部分的な項目)

預言(旧約聖書時代での預言...新約聖書時代での預言の成就)

- アブラハムの子孫から出る。(創世記 12:2-3 ... マタイによる福音書 1:1; ガラテア人への手紙 3:16)
- ユダの子孫から出る。(創世記 49:10 ... マタイによる福音書 1:2)
- ダビデの子孫から出る。(2 サムエル記 7:12-16; エレミヤ書 23:5 ... マタイによる福音書 1:1)
- 処女から生まれる。(イザヤ書 7:14; 創世記 3:15 ... マタイによる福音書 1:18, 23)
- ベツレヘムで生まれる。(ミカ書 5:2 ... マタイによる福音書 2:1-12)
- 永遠に存在する方。(ミカ書 5:2; イザヤ書 9:6, 53:10-11; 詩篇 110:1 ... ヨハネによる福音書 1:1, 14, 8:58; ヘブル人への手紙 1:8)
- 神の子である。(エレミヤ書 23:6; イザヤ書 9:6-7 ... ヨハネによる福音書 20:31)
- 救い主の行うことについて。(イザヤ書 61:1 ... ルカによる福音書 4:16-21)
- 救い主の前に準備する者が現れる。(イザヤ書 40:3; マラキ書 3:1, 4:5-6 ... マタイによる福音書 3:1-3, 11:7-11)
- 思慮深く、口バの背中にのる。(ゼカリヤ書 9:9 ... マタイによる福音書 21:5)
- 平和の君と呼ばれる。(イザヤ書 53:9 ... ヨハネによる福音書 14:27)
- 知恵と真実の方である。(イザヤ書 52:13, 53:9, 11 ... ヨハネによる福音書 14:6)
- 正しい方である。(イザヤ書 53:11 ... ルカによる福音書 23:47)
- 非常に高められる(イザヤ書 52:13, 15, 53:12 ... ピリピ人への手紙 2:9-11)
- 尊い石の礎である。(イザヤ書 28:16 ... 1 ペテロの手紙 2:6)
- 新しい契約の仲介者である(エレミヤ書 31:31-34; イザヤ書 42:6-7, 53:12 ... ヘブル人への手紙 12:24)
- 新しい契約を伝える者である。(マラキ書 3:1 ... マタイによる福音書 26:28)
- 王である。(民数記 24:17; エレミヤ書 23:5; 詩篇 2:6 ... マタイによる福音書 21:5)
- 預言者である。(申命記 18:15-19 ... 使徒の働き 3:22)
- 祭司である。(詩篇 110:4 ... ヘブル人への手紙 5:5-10)
- 人からさげすまれ、のけ者にされる。(詩篇 118:22; イザヤ書 53:3 ... マタイによる福音書 21:42)
- 苦しみを受けられる。(イザヤ書 53:3-4, 5, 7, 11 ... ルカによる福音書 18:31-33)
- 彼の苦しみにより人々は平安と癒しを受ける。(イザヤ書 53:5 ... 使徒の働き 10:36; 1 ペテロの手紙 2:24)
- 体を突き刺される。(ゼカリヤ書 12:10; イザヤ書 53:5 ... ヨハネによる福音書 19:34, 20:25, 27)
- ひとつの骨も砕かれない(詩篇 34:20; 民数記 9:12; 出エジプト記 12:46 ... ヨハネによる福音書 19:33-36)

- 彼の着物はくじ引きにされる (詩篇 22:18 ... マタイによる福音書 27:35)
 - 外見に非常な損傷を受ける。(イザヤ書 52:14 ... ヨハネによる福音書 19:1-3, 18)
 - 彼はむち打たれる。(イザヤ書 53:5 ... ヨハネによる福音書 19:1)
 - 神の子羊である。(イザヤ書 53:7 ... ヨハネによる福音書 1:29)
 - 彼は罪のための捧げものとされた。(イザヤ書 53:10 ... 2 コリント人への手紙 5:21; ローマ人への手紙 8:3-4)
 - 世の罪のために生まれた。(イザヤ書 53:4-6, 8, 11-12 ... ヘブル人への手紙 9:28; 1 ペテロの手紙 2:24)
 - 彼の死について (イザヤ書 53:8-9, 12; ダニエル書 9:25-27; ゼカリヤ書 13:7 ... ヨハネによる福音書 19:18)
 - 彼のよみがえりについて。(詩篇 16:10 ... マタイによる福音書 28:6; 使徒の働き 2:22-36, 13:32-37)
 - 彼の昇天について。(詩篇 68:18 ... 使徒の働き 1:9-11; エペソ人への手紙 4:8)
-
- 救い主、王の王、主の主であるイエスキリストは、大患難時代の終わりにもう一度この地上に來られて、キリストを信じる者を救い、悪をさばき、世を治められます。(ヨハネの黙示録, 19- 20章; イザヤ書 34:1-17, 66:15-17; ダニエル書 12:1-13; ヨエル書 2:28-32; 3:1-17; ゼカリヤ書, 12-14章; マタイによる福音書 25:31-46; ルカによる福音書 17:20-37; 2 テサロニケ人への手紙 1:1-12, 2:1-12; テトスへの手紙 2:11-14)

天使(御使い)について

天使(御使い)は、神によって、神に仕える者として創造されました。彼らは、「奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになる人々に仕えるために遣わされて」います。(ヘブル人への手紙1:14) 天使(御使い)は、神を信じるの人々へ特別なメッセージを届ける働きをします。(創世記 22:11; 士師記 13:3-5; ゼカリヤ書 2:1-6; ルカによる福音書 1:11-20, 26-38; マタイによる福音書 28:1-7) また彼らは高い知能を持ち、非常に強く、よくイエスを救い主と信じる人々を守り助けます。(創世記 19:15-17, 48:16; 出エジプト記 23:20-23; 2サムエル記 14:20; 1列王記19:5-7; 使徒の働き 5:19, 12:7-11)

天使(御使い)は、神が決めたこれから起きる出来事を知らせる働きをします。(創世記 19:12-13; 2サムエル記 24:15-17; 2歴代誌 32:21) 終末においても彼らは、数々の神からのさばき(決定事項)を実行するために関わります。(マタイによる福音書 13:40-42, 49-50; 2テサロニケ人への手紙1:6-8; ヨハネの黙示録 6:1-17, 8:1-13, 9:1-21, 11:15-19, 15:1-16:21) そして天使(御使い)は、よく主に栄光と賛美をささげる存在として聖書に描かれています。(詩篇 103:20-21; ヨハネの黙示録 5:11-12)

「また私は見た。そして御座と生き物と長老たちの周りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の数万倍、千の数千倍であった。彼らは大声で言った。『屠られた子羊は、力と富と知恵と勢いと誉れと栄光と賛美を受けるにふさわしい方です。』」(ヨハネの黙示録 5:11-12)

- **マタイによる福音書 18:10** 「あなたがたは、この小さい者たちの一人を軽んじたりしないように気をつけなさい。あなたがたに言いますが、天にいる、彼らの御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。」
- **出エジプト記 23:20** 「見よ。わたしは、使いをあなたの前に遣わし、道中あなたを守り、わたしが備えた場所にあなたを導く。」

- **2 サムエル記 24:16** 「御使いは、エルサレムを滅ぼそうと手を伸ばした。主はわざわいを下すことを思い直し、民を滅ぼす御使いに言われた。「もう十分だ。手を引け。」主の使いは、エブス人アラウナの打ち場の傍らにいた。」
- **2 列王記 19:35** 「その夜、主の使いが出て行き、アッシリアの陣営で十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな死体となっていた。」
- **ルカによる福音書 2:8-15** 「さて、その地方で、羊飼いたちが野宿をしながら、羊の群れの夜番をしていた。すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。御使いは彼らに言った。『恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。』すると突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。『いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。』御使いたちが彼らから離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは話し合った。『さあ、ベツレヘムまで行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見届けて来よう。』」

サタン(魔王、ルシファー)と悪魔たちについて

旧約聖書と新約聖書には、サタンについて明確にその存在が記されています。サタンは、初めに創世記3章で、蛇として現れています。新約聖書の時代になると、サタンは更に目立つようになってきます。彼は墮落してしまった天使(エゼキエル書 28章, イザヤ書 14章)で、彼の罪(高慢さ、プライド)により、神の前から追放されました(エゼキエル書28:16)。悪魔たちも墮落した天使で、サタンの手下です。サタンと彼の手下である悪魔たちは霊として存在し、高い知能を持ち、力強く、人に病気をもたらすことが出来、人の考えに影響を与え、人々、そして国々を騙して神から遠ざけようとします。(マタイによる福音書 8:16, 12:24, 25:41; ヨハネの黙示録 12:7, 16:14; ルカによる福音書 10:17, 20, 13:11,16; マルコによる福音書 1:24, 5:3-4; 1 テモテへの手紙 4:1; 創世記 3:1-5; 1 テサロニケ人への手紙 3:5)

- **ヤコブの手紙 4:7** 「ですから、神に従い、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。」
- **1 ペテロの手紙 5:8-9** 「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。堅く信仰に立って、この悪魔に対抗しなさい。ご存じのように、世界中で、あなたがたの兄弟たちが同じ苦難を通ってきているのです。」
- **2 コリント人への手紙 11:14** 「しかし、驚くには及びません。サタンでさえ光の御使いに変装します。」
- **ヨハネの黙示録 20:10** 「彼らを惑わした悪魔は火と硫黄の池に投げ込まれた。そこには獣も偽預言者もいる。彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しみを受ける。」

8. 聖書の基礎

聖書について

聖書は、神のことばであり、信仰と人生に関して最終的な権威を持つものである。全てのことばは神から出たもので、聖書に書かれている全てのことばには何の間違ひもありません。(2 テモテへの手紙 3:16-17; 2 ペテロの手紙 1:20-21; マタイによる福音書 5:18; ローマ人への手紙 15:4)

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。」(2テモテへの手紙 3:16-17)

聖書は他の書物とは異なります。その理由として、聖書は約1500年の間の中で、違う時代や場所で生きた著者たち、およそ40名で書かれたということです。66の書物で構成されて、3つの言語(ヘブル語、アラム語、ギリシャ語)が使われ、3つの大陸(アジア、アフリカ、ヨーロッパ)での出来事が書かれています。そして神はどのような方なのか、私たちはどのように救われるのか、どのように私たちの心、言葉、行動を通して神を褒め称えることができるのか、などを明らかにしてくれます。聖書は、旧約聖書と新約聖書に分かれています。

旧約聖書は39の書物から成り、世界と人が創造されたところからはじまり、人の神への不従順(罪のはじまり)、ノアの洪水、アブラハム、イサク、ヤコブの生涯、神の民(イスラエル)のエジプト脱出、神の選ばれる民イスラエルのはじまり、シナイ山での十戒、カナン(約束の地)の征服、士師達の時代、イスラエルの最初の王達(サウル王、ダビデ王、ソロモン王)、初の主の宮の建設(ソロモン王による)、イスラエル王国の分裂(北王国:イスラエル、南王国:ユダ)、アッシリア帝国による、北王国イスラエルの捕囚、バビロニア王国による、エルサレムの破壊とユダ王国の捕囚、捕囚からのエルサレム帰還と、二度目の主の宮の建設(ゼルバベルによる)等が書かれてあります。旧約聖書ほとんどは、シナイ山で神がイスラエルと結んだ契約に関係する出来事に焦点が置かれていますが、旧約聖書のあちこちに、救い主の家系の預言や、救い主について、新しい神との契約についての預言が書かれています。それらの預言の成就是新約聖書になって見ることができ、旧約聖書最後の書物であるマラキ書から、救い主(イエス)の誕生までは、約400年とされています。

新約聖書は27の書物から成り、およそ紀元後(AD)35年から95年の間に書かれたとされています。新約聖書は、主に人と神との新しい関わり方と、キリストによる新しい神との契約について書かれています。(エレミヤ書 31:31-34; ルカによる福音書 22:14-20; 2 コリント人への手紙 3:6-11) 旧約時代の契約は、正しい律法と、贖い主が来るという約束の中に、神の神聖が明らかにされていましたが、新しい契約では、神の子(イエス)の中に神性を見ることができます。新約聖書には、新しい神との契約が明らかにされています。新約聖書では、全ての罪の贖いのために自分を捧げる救い主(イザヤ書53:10; マタイによる福音書26:28)と、救い主(イエス)から救いを受けた人々(教会)を中心とした内容が書かれています。新約聖書の中心的なテーマは、「救い」であり、救い主イエスキリストは、この良い知らせ(福音)をもたらしました。使徒の働きには、この良い知らせがどのように世界に広まったのかが書かれており、その他の新約聖書の書物には、更に詳細な救いの恵みが書かれています。

新約聖書の書物

書物の名前－テーマ役に立つ箇所

四つの福音書と使徒の働き－キリストの生涯, 教会の誕生, クリスマスの迫害, キリスト信仰の拡大

- **マタイによる手紙**－王であるイエス－イエスの誕生 1-2章, イエスの受洗 3章, 山上の説教 5-7章, 祈りについて 6:5-13, 心配について 6:25-34, 終末の出来事について 24-25, 十字架の受難 27:27-66, 死からの復活 28:1-10, 大宣教命令 28:19-20
- **マタイによる福音書**－しもべであるイエス－ 10:45, 終末の出来事 13, 十字架の受難 15:21-47, 死からの復活 16:1-8
- **ルカによる福音書**－人の子であるイエス－ 19:10, 24:46-48, イエスの誕生 1-2, イエスの受洗 3:1-22, 無条件の愛について 6:27-38, 終末の出来事 17:20-37, 21:5-36, 十字架の受難 23:26-56, 死からの復活 24:1-12
- **ヨハネによる福音書**－神の子であるイエス－ 20:31, 天地創造 1:1-18, イエスの受洗 1:19-34, 十字架の受難 19:17-42, 死からの復活 20:1-18
- **使徒の働き**－教会の誕生、成長、迫害－ 1:1-11, 教会の誕生 2章, 迫害が始まる 4章, 最初の殉教者ステパノ 6:8-8:3, パウロの改心 9:1-31, 異邦人の改心 9:32-10:48, パウロの拘束 21:27-22:29

パウロによる書簡

- **ローマ人への手紙**－信仰による救い－神の激しい怒り 1:16-32, 義について 3:21-31, 5:1-21, 罪を犯し続けるとどうなるか 6章, 神の優しさ 8:26-39, 信仰による救い 10:1-17, 心を新しくされる 12:1-8
- **1 コリント人への手紙**－軌道修正－ 6:19-20, 結婚について 7章, 誘惑について 10:12-13, 31, 神からの賜物について 12:1-14:40, 愛の定義 10:1-13, 福音の定義 15:1-5, 携挙について 15:51-58, 捧げることについて 16:2
- **2 コリント人への手紙**－クリスマスの働き－ 4:16-18, 13:5, 14章, 復活の確信 5:1-9, キリストのさばきの座 5:10-13, キリストの愛 5:14-21, 捧げることについて 8:1-9:15, パウロが見た幻:1-10
- **ガラテヤ人への手紙**－律法からの自由－信仰による救い 2:16-4:31, 自由 5:1-15, 御霊の実 5:16-26, 罪を犯している友人 6:1-5
- **エペソ人への手紙**－キリストの体を築く－選びと証印 1:3-23, 恵みによる救い 2:1-10, キリストの体 2:11-4:6, 神からの賜物 4:7-16, クリスマスとしての生活 4:17-6:9, 結婚と家族について 5:22-6:4, 主によって強くされる 6:10-20
- **ピリピ人への手紙**－生きることはキリスト－ 1:6, 21, 3:8, 謙虚さについて 2:1-18, 心配や不安について 4:6-8, 現在の環境の中で平安である秘訣 4:10-23
- **コロサイ人への手紙**－全ての必要を満たしてくださるキリスト－キリストの特徴 1:15-23, パウロのキリストからの任務 1:24-29, キリスト者信仰について 2, 召命について 3:1-4:6, 結婚、家族について 3:18-21
- **1 テサロニケ人への手紙**－キリストの再臨を待つ間、自分を清く保つ－主にあって成長させられる 3:9-13, 携挙と終末の出来事 4:13-5:11, 喜び、祈り、感謝を捧げる, 5:16-18

- **2 テサロニケ人への手紙** – キリストの再臨を待つ間しっかりと信仰に立つ – 終末のさばきと救い 1:3-12, 不法の人 2:1-13,しっかりと立つ 2:13-17
- **1 テモテへの手紙** – 教会におけるリーダーシップ・マニュアル – 1:5-6, 礼拝に関する説明 2:1-15, 監督と執事の資格について 3:1-16, 未亡人と年配の方への接し方 5:1-25, お金と善行について 6:6-19
- **2 テモテへの手紙** – 主の働きにおける忍耐深さ – 1:7, 3:16-17, 勇気と誠実さ 1:8-18, キリストの兵士 2:1-26, 最後の日について 3:1-9, 迫害について 3:10-15, 義の冠 4:6-8
- **テトスへの手紙** – 管理マニュアル – 教会の長老の資格 1:5-9, 恵みについて 2:11-15, 恵みによって救われる 3:5-7
- **ピレモンへの手紙** – 赦し – オネシモについてのパウロの嘆願 1:8-21

ペテロ、ヨハネ、ヤコブ、その他による書簡

- **ヘブル人への手紙** – キリストの素晴らしさ – 4:12, 12:1-2, 祭司メルキゼデクと新しい契約 7:1-8:13, 最初の契約と新しい契約 9:1-10:31, 信仰とは 11章
- **ヤコブの手紙** – 行いのある信仰 – 試練と誘惑 1:2-18, 聞く事と実行する事 1:19-27, 行いのある信仰 2:14-26, 舌を制御するとは 3:1-12, 真実の知恵 3:13-18, 世の中で生きる秘訣 4章
- **1 ペテロの手紙** – キリストを信じる故に受ける苦しみ – 生ける望み 1:3-12, 聖なるものとされなさい 1:13-25, 結婚について 3:1-7, 苦しみについて 3:13-4:19, 謙遜と思い煩い 5:5-7
- **2 ペテロの手紙** – にせ教師に抵抗する – 救いの招きと選び 1:3-11, 聖書の預言 1:12-21, にせ教師 2章, 終末について 3章
- **1 ヨハネの手紙** – 交わり – 交わりの特徴 2:28-3:24, 交わりに関する警告 4章, 交わりがもたらす結果 5章
- **2 ヨハネの手紙** – にせ教師を避けなさい – 互いに愛し合いなさい 1:5-6, にせ教師について 1:7-11
- **3 ヨハネの手紙** – 神を信じる者との交わり – ガイオの影響 1:2-8
- **ユダの手紙** – 信仰の戦い – 神に従わない人々の罪とさばき 1:3-16, 待ち望みなさい 1:17-23
- **ヨハネの黙示録** – イエスキリストの啓示 – 7つの教会へのメッセージ 2:1-3:22, 封印のさばき 6章, 144,000人のユダヤ人 7:1-8, 14:1-5, ラッパのさばき 8:1-9:21, 11:15-19, 二人の証人 (預言者) 11章, 地上と天での戦い 12章, 獣とにせ預言者 13章, 鉢のさばき 15-16章, 大バビロン 17-18章, キリストの地上再臨 19章, 千年王国 20章, 新しい天と地とエルサレム 21:1-22:5, エピローグ 22:6-21

旧約聖書の書物

書物の名前 – テーマ – 役に立つ箇所

モーセ五書 – モーセによる5つの書物(律法又はトーラ)

- **創世記** – 世界のはじまり – 天地創造 1-2, 罪のはじまり 3:1-24, ノアと洪水 6-9, バベルの塔 11:1-9, アブラハムの歴史 11:27-25:11, アブラムの召し 12:1-9, 主とアブラムとの契約 15:1-21, イ

サクの歴史 21-25, ヤコブとエサウ 25:19-36:43, ヤコブの12人の息子たち 29-50, ヨセフの歴史 37-50

- **出エジプト記** – エジプトからの救済 – エジプトでのイスラエル民族: 奴隷時代 1:1-12:36, モーセの選びと準備 2-4, 神よりパロの元へ送られるモーセ 5:1-7:13, 災難 7:14-12:36, 最初の過越し 12:1-36, エジプトからの出発 12:37-51, イスラエル民族のシナイ山への旅 12:37-18:27, 律法の授与 19-24章, 幕屋について 25-31章, 35-40章, 律法違反 32-34章
- **レビ記** – 神聖 – いけにえについて 1-17章, 聖化について 18-27章
- **民数記** – 荒野をさまよい歩く – イスラエル民族の不平不満 11-12章, カナンの地へのスパイ派遣 13章, イスラエル民族の反抗 14章, 神による訓練 15-20章
- **申命記** – 契約 – 十戒 5:6-21, イスラエルよ、聞け 6:4-9, 祝福と呪いの約束 28章, 約束の地に入る前の契約 29-30章, モーセの死 34章

歴史の書 – 12の書物

- **ヨシュア記** – 征服と分配 – 1:8-9, 約束の地カナンへの進入 1-5章, カナンの地の征服 6-12章, カナンの地の分配 13-24章
- **士師記** – (イスラエル民族の)周期 – デボラとバラク 4-5章, ギデオンによる救済 6-8章, ギルアデ人エフタ 10:6-12:7, サムソン 13-16章
- **ルツ記** – 買い戻しの権利のある親類 – ルツの約束 1:16-17, 買い戻しの権利のある親類ボアズ 2-4章
- **1 サムエル記** – サムエル、サウル、ダビデ – 最後の士師サムエル 1-8章, イスラエルの最初の王サウル 9-31章, 選ばれたダビデ 16章, ダビデ、ゴリアテを打ち負かす 17章, サウル王より強くなったダビデ 17-31章
- **2 サムエル記** – ダビデ – イスラエルの王となったダビデ 5章, ダビデの罪 11章, アブシャロムの謀反 14-18章
- **1 列王記** – 王国の分裂 – 王位を継承したソロモン 1:1-3:1, ソロモンの知恵、管理能力、そして名声 3:2-4:34, 9:1-9, ソロモンによる神殿建設 5-8章, ソロモンの転落 11章, 王国分裂 (イスラエル王国とユダ王国) 12-22章, 預言者エリヤ 17-19, 21章
- **2 列王記** – イスラエル王国とユダ王国の衰退と捕囚 – 王国分裂 1-17章, 預言者エリシャ 2-9章, アッシリア帝国によるイスラエル王国捕囚 17章, ヒゼキヤ王時代 18-20章, バビロニア王国のユダ王国捕囚と神殿の破壊 24-25章
- **1 歴代史** – ダビデ王時代 – ダビデの王位継承と統治 10-29章, ソロモンの王位継承とダビデの死 29:22-30
- **2 歴代史** – ユダ王国側からの視点による出来事 – 7:14, 16:9, ソロモン王権誕生 1-9, ソロモンの祈りと知恵 1:7-12, ソロモン王による宮の奉献 5-7章, ユダの王達 10-36章
- **エズラ記** – 主の宮 – ゼルバベル率いる捕囚の民の帰還 1-6章, 宮の再建 3-6章, エズラ率いる捕囚の民の帰還 7-10章
- **ネヘミヤ記** – エルサレムの城壁 – ネヘミヤの監督下による城壁再建 1-7章, エズラの指導による神とイスラエルとの契約の再認識 8-10章
- **エステル記** – 神の導き – 4:14, 王妃となったエステル 2:1-20, モルデカイの忠誠心 2:21-23, ハマンの憤り 3章, 神の民、ユダヤ人の救済 6-10章

詩と知恵の書－5つの書物

- **ヨブ記** – 神の主権 – ヨブの苦難 1-2章, ヨブの論争 3-37章, ヨブの救い 38-42章
- **詩篇** – 礼拝 – 重要な章 1, 22, 23, 24, 37, 72, 100, 119, 121, 150章
- **箴言** – 知恵 – 2:6, 3:5-6, 8:13, 9:10, 15:1, 17:22, 22:6, 23:7, 27:17, 箴言の目的 1:1-7, 若者への箴言 1:8-9:18, ソロモンのよる箴言 10-29章, 立派な妻の特徴 31:10-31
- **伝道者の書** – 虚しさ – 全ては虚しい 1:1-3, 人生を楽しむ事は神からの贈り物 3:12-13, 3:22, 5:18-19, 8:15, 9:7-9, 神を恐れ従うこと 12:13-14
- **雅歌書** – 愛 – 結婚につながる関係 1-3章, ソロモンの妻への称賛 4:1-15, 愛を深める 5:2-8:14
-

預言の書－17の書物

- **イザヤ書** – 救い – 強い非難の預言 1-39章, 救い主の苦難と勝利 52:13-53:12, 慰めの預言40-66章
- **エレミヤ書** – ユダの終わりの時 – エレミヤの召命 1章, 新しい契約 31:31-34, ユダに対する預言 2-45章, 異邦人への預言 46-51章, エルサレムの崩壊 52章
- **哀歌** – 深い悲しみ – エルサレムの崩壊 1章, 神の怒り 2章, 哀れみの祈り 3章, エルサレムの包囲 4章, 修復のための祈り 5章
- **エゼキエル書** – イスラエルの復興 – エゼキエルの任務 1-3章, ユダへのさばき 4-24章, 異邦人へのさばき 25-32章, イスラエルの復興 33-48章
- **ダニエル書** – イスラエルに対する神の計画 – ダニエルの生い立ち 1章, 激しく燃える火の炉 3章, ライオンの穴 6章, 異邦人への預言的計画 2-7, 70週の預言 9章, イスラエルへの預言的計画 8-12章
- **ホセア書** – 神のイスラエルに対する変わることはない愛 – 不倫する妻に対する夫の忠誠的な愛 1-3章, 不忠実なイスラエルと誠実な神 4-14章
- **ヨエル書** – 主の日 – 世の荒廃 1:2-2:17, 救済 2:18-3:21
- **アモス書** – イスラエルに対するさばき – アモスの預言 1:3-2:16, アモスの説教 3-6章, アモスが見た幻 7-9章
- **オバデヤ書** – エドムに対するさばき – エドムのさばき 1:1-18, イスラエルの回復 1:19-21
- **ヨナ書** – ニネベの街のリバイバル – ヨナに対する最初の任務 1-2章, 大きな魚に食べられたヨナ 1:17, ヨナに対する2回目の任務 3-4章
- **ミカ書** – ユダに対するさばきと回復 – 6:8, さばきの預言 1-3章, 回復の預言 4-5章, 悔い改めによる願い 6-7章
- **ナホム章** – ニネベに対するさばき – ニネベに対するさばきの判決 1章, ニネベの破壊に関する判決 2章, ニネベの破壊の必然性 3章
- **ハバクク書** – 信仰 – 預言者ハバククが預言した宣告 1-2章, ハバククの祈り 3章
- **ゼパニヤ書** – 主の日のさばきと救済 – さばきの預言 1:2-3:8, 祝福の預言 3:9-20
- **ハガイ書** – 主の宮の再建 – 主の宮の再建設 (二度目) 1章, 最後の宮の素晴らしさ 2:1-9, 従順さに対する祝福 2:10-19, 将来の約束の恵み 2:20-23
- **ゼカリヤ書** – 救い主が来る前の準備 – 悔い改めの招き 1:1-6, ゼカリヤが見た幻 1:7-6:15, 将来に対する不安と重荷 9-14章

- **マラキ書** – 悪の道を歩む者への呼びかけ – 神のイスラエルに対する哀れみ 1:1-5, 神のイスラエルに対する不満 1:6-3:15, 人に対する神の判決 3:16-4:6

聖書年代記

- 神が天と地を創造された, 創世記 1-2章
- 人の墮落(罪の始まり), 創世記 3章
- ノアと洪水, 創世記 6-9章
- アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ, 創世記 11-50章
- 神の民のエジプトでの奴隷からの救出, 出エジプト記 1-12章
- イスラエル民族の誕生, 出エジプト記 12章
- シナイ山で律法を与えられる, 出エジプト記 19-24章
- 約束の地カナンの征服, ヨシュア記 6-12章
- イスラエルの士師達による指導, 士師記 1-21章, 1 サムエル記 1-9章
- 最後の士師サムエル, 1 サムエル記 1-25章
- イスラエルの最初の王サウルの時代, 1 サムエル記 10章
- ダビデ王権時代, 2 サムエル記 1-5章
- ソロモン王権時代, 1 列王記 1-3章
- ソロモン王による初めの神殿建設(エルサレムにて), 1 列王記 8章
- 預言者の活躍, イザヤ書からマラキ書まで
- イスラエル王国分裂(北:イスラエル、南:ユダ), 1 列王記 12章
- アッシリア帝国による北王国(イスラエル)捕囚, 2 列王記 17章
- バビロニア王国による南王国(ユダ)捕囚と神殿の破壊, 2 列王記 24-25章
- ユダのバビロニア王国からのエルサレム帰還, エズラ記 1-10章
- ゼルバベル指導の元二度目の神殿が再建設される, エズラ記 6章
- 最後の旧約聖書時代の預言者、マラキ, マラキ書 1-4章
- 救い主イエス、ベツレヘムで誕生, マタイによる福音書 2:1-12
- イエスキリストの十字架刑、死、復活, ヨハネによる福音書 19:18, 20:1-18
- 教会の誕生(ペンテコステ), 使徒の働き 2章
- 福音の拡散, 使徒の働き 3-28章

9. 推薦文献

救いと信仰の成長に関する文献

www.billygraham.org - “How to Know Jesus” をご覧下さい。

www.cru.org - “How to Know God” をご覧下さい。

の学びと研究に関する文献

www.biblehub.com - 聖書の学びに関するサイトです。

www.biblegateway.com - 聖書の学びと研究に役立ちます。

www.blueletterbible.org - 聖書研究に必要な情報が掲載されています。

10. ヴィジョンと働き

ヴィジョン

私たちのヴィジョンは、携挙が起こる前と後に何億人という人々が、イエスキリストを個人的な救い主と信じることが出来るよう、また、携挙後に残されてしまった人々のために祈り、準備し、助ける事です。

働き

Operation Tribulation Rescueは、様々なメディアを用いてイエスキリストの救いの知らせを携挙前と後に世界に配信する働きをしています。私たちは携挙が起きた後に残された人々が、その後に起こると預言されている歴史史上最大のリバイバルに備えて準備を始めることが出来るよう、必要な情報を提供する事に力を尽くしています。私たちは、伝道とは実際に会い、会話を通して、そして多くの祈りによって最も良く伝わると認識しています。

11. 私たちについて

Operation Tribulation Rescue (OTR)は、携挙の後残される人々の助けになる事を願い、2010年11月より活動が始まりました。私たちは、イエスキリストの再臨に備え、人々に警告をし、患難時代を生きる人々への備えと、イエスキリストの救いを伝える事は急務であると考えています。このウェブサイト (www.tribulationrescue.com) は、OTRの働きを遂行するための様々な働きの内のひとつです。このサイトの中には、いつ携挙が起こるのかは書かれてはいません。それは、聖書にはっきりとこのように書かれているからです。「ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。」(マタイによる福音書24:36)しかし、携挙が起きた後からイエスキリストが再び地上に来られるまでの期間は、反キリストによる平和条約が結ばれた後から2520日(ヨハネの黙示録11:2-3,12:6)であると聖書で預言されています。是非今からその為に心を準備してください。

ORTは、寄付金等は受け付けておらず、完全にボランティアによる働きで運営している組織です。もしこの働きに参加したい方は、「[お問合せ/私たちの働きに参加しませんか](#)」をご覧ください。私たちのゴールは世界の全ての国にメンバーをおくです。この働きのため、また、残される(た)人々の救済のためにお祈りください。

バックグラウンド

多くの人は携挙が何なのか良く理解していません。これはイエスキリストが、イエスキリストを信じた人々全てを7年間の患難時代の前に天に引き上げる出来事です。携挙の後、60億以上の人を取り残され、恐れを抱き、混乱し、この出来事に関して答えを探そうとします。多くの人インターネットで調べでしょう。しかし事実ではない多くの情報を流す、にせ教師と呼ばれる人が出てきます。残念なことに、殆どの教会やクリスチャンの宣教団体のウェブサイトは残された人々が必要な情報を提供することは出来ないでしょう。なぜならそれらの多くが、「消えた人はどこに行ったのか」についての情報で、実際に残された人がすべき事に関する情報は非常に少なく、間違った情報が、残された人々の心や考えに大きな影響を与えます。「それで神は、惑わす力を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。」(2テサロニケ人への手紙2:11) イエスは終わりの時代に生きる人々にこのように警告しました。「そこでイエスは彼らに答えられた。「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。」(マタイによる福音書24:4-5) 覚えていて欲しいのは、神のことば、祈り、キリストの愛、そして預言の成就是それらの間違った情報を断ち切ることが出来るのです。

多くの人は、私たちが警告しているイエスキリストの再臨に関して、耳を傾けないでしょう。それはノアの時代と同じです。(マタイによる福音書24:37-39 人々はノアの警告(洪水が起こる)を聞かず、日常を過ごしていました。) 私たちは、今の時代に人々に警告する事により、携挙と患難時代への意識を高め、神の働きが爆発的に行われる準備を行うことも、私たちの使命だと思っています。多くの人患難時代の中にイエスキリストを信じ、救いを受けることが私たちの祈りです。たとえ60億人の5%が救われたとしてもそれは3億人になりますが、神はそれ以上の人々が救われて欲しいと思っておられます。神は、「...だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」(2ペテロの手紙3:9) 残された者たちには苦難の時が残されています。「そのときには、世の始まりから今に至るまでなかったような、また今後も決してないような、大きな苦難があるからです。もしその日数が少なくされないなら、一人も救われません。しかし、選ばれた者たちのために、その日数は少なくされます。」(マタイによる福音書24:21-22) 私たちは、神が終わりの時代に素晴らしいことを行い、私たちも人類歴史上最大のリバイバルの一部として、イエスキリストの救いを多くの人々に伝える事が出来るよう、祈りに覚えます。私たちが、残される人々のために強く祈っています。もしあなたがこのページを携挙の起こった後に読んでいるのなら、あなたは独りではありません。イエスは天に上げられる前、弟子たちにこのように言いました。「...見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」(マタイによる福音書28:20) あなたは、あなたを創造された神に愛され、多くの人に祈られているのです。「終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。」(エペソ人への手紙6:10)

12. 問い合わせ/私たちの働きに参加しませんか

Tribulation Rescue チームに参加しませんか？下記の条件を満たすことができれば、誰でもメンバーになることができます。

1. イエスキリストをあなたの救い主と信じている。(もし、信じていない、信じているのか良く分からない方は、「私はどうすれば救われるの？」をお読みいただき、是非イエスキリストが救い主であると信じて下さい。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」(使徒の働き 16:31).
2. この働き(OTR)のため、携挙で残されてしまう人々のために祈ることが出来る。
3. このウェブサイトの情報を10人以上に伝えることが出来る。

以上3つの条件を満たす方、おめでとうございます！あなたを正式にTribulation Rescue チームのメンバーとして歓迎します。是非私たちにあなたの話を聞かせてください。メールでのお便りお待ちしております。

注意: プライバシー保護の関係、本名は記入しないでください。

こちらにご入力下さい

ニックネーム (本名は記入しないで下さい)

メールアドレス

市町村

県

国

もしあなたが携挙後にこのサイトを読んでいるなら、サイト運営は無人になります。しかし私たちは神がOTRの働きを行う人を興して下さるように祈ります。